

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	One step smile 横須賀・衣笠教室		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日		～ 令和 8 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日		～ 令和 8 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 30 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との密なコミュニケーションを図り、信頼関係を構築している。	送迎時だけでなく、定期的な面談や連絡アプリを活用し、ご家庭での様子と事業所での様子を細やかに共有しています。	今後は保護者会や保護者向け学習会を定期開催し、保護者同士の交流の場や専門的な情報提供の機会を増やしていきます。
2	職員の専門性向上のため、定期的な研修やケース会議を実施している。	毎月1回、全職員参加のケース会議を実施し、個別の支援計画の見直しや支援方法の共有を行っています。また外部研修への参加も積極的に推奨しています。	今後は事業所内での研修テーマを体系化し、新人から中堅まで各レベルに合わせた計画的な育成プログラムを構築します。
3	感染症対策や衛生管理を徹底し、安全・安心な療育環境を提供している。	毎日の検温、手洗い・うがいの徹底に加え、おもちゃや設備の定期的な消毒をルール化して運用しています	季節性の感染症流行期に向けて、最新のガイドラインに基づいた対応マニュアルのアップデートを行い、緊急時の対応含め職員間で周知徹底を図ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会との交流を促進し、社会性を育むプログラムを提供している。	近隣の公園での活動や、地域のイベントへの参加を通じて、社会のルールを学びながら地域の方々と触れ合う機会を設けています。	今後は地域の図書館や公共交通機関などを利用した活動を増やし、より幅広い社会経験が積めるよう支援内容を拡充します。
2	個別の発達段階や特性に合わせた、多様な教材・遊具を用意している。	感覚統合を促す遊具や、手先の微細運動を高める知育玩具など、児童の興味関心に合わせて選択できるよう幅広く揃えています。	児童の成長に伴い必要となる新しい教材を定期的に見直し・補充するとともに、児童の特性に合った手作り教材の開発にも職員間で取り組んでまいります。
3	子どもがパニックになった時や疲れた時に、一人で静かに落ち着ける空間(クールダウンスペース)が確保されていないように感じる。	事業所内の限られたスペースを活用して日々の活動を行っているため、活発に動くエリアと、静かに過ごすエリアの明確な区切りや専用のスペースを十分に確保できていませんでした。	フロアのレイアウト変更やパーテーション・テントの導入などを行い、子どもたちのその日の状態に合わせて安心して過ごせる環境(動と静のスペース分け)を整えていきます